

## 商学部協定校留学 帰国報告書

- ※ 商学部の協定校留学を終えた学生は、帰国後 3 か月以内に帰国報告書を商学部事務室に提出するものとします。
- ※ 報告事項は下記の 1～7 を参考にし、必要に応じて項目を加除し、この文書（Word ファイル）に直接書き込んで作成してください。ファイルと印刷原稿一部を提出してください。字数は自由ですが、全体で 3000～4000 字程度を目安とします。添付できる資料があれば添付してください。提出物は返却しませんので、必ずコピーを手元に保存してください。
- ※ 報告書（印刷原稿）は商学部の学生、教職員が閲覧できるものとします。商学部の協定校留学制度の改善に役立て、留学を希望する学生への情報提供を行うことが目的です。
- ※ 報告書の一部（「6. 商学部学生へのメッセージ」）は、学部ホームページに公開しますが、その際は報告者の許諾を得ることとします。

（商学部国際交流委員会）

留学先協定校名	カーディフ大学 Cardiff University
留学者氏名	近藤 貢誠
留学期間	2012 年 9 月 ～ 2013 年 6 月
出発時の学年・組・番号	3 年 17 組 20 番
所属コース	マーケティング
本報告書の提出日	2013 年 9 月 20 日

1. 出発前の準備（留学の目的と学習計画、入学許可申請、外国語能力、留学費用、奨学金、健康保険・旅行保険、ビザなど）
2. 協定校での諸手続き
3. 宿舎と日常生活
4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果
5. 帰国準備と帰国後の手続き
6. 商学部学生へのメッセージ（400～600 字程度）

学部 HP への掲載を 許可します / 許可しません

（許可いただける場合は、掲載可能な写真等ありましたら、ご提供ください）

7. その他

## 留学 帰国報告書

1. 出発前の準備
2. 協定校での諸手続き
3. 宿舎と日常生活
4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果
5. 帰国準備と帰国後の手続き
6. 商学部学生へのメッセージ

### 1. 出発前の準備

#### 1-1. 留学の目的

私の留学の目的としては大きく3点あり、①新たな価値観に触れる。②英語の能力を上げる。③ビジネスをヨーロッパの視点から見るということです。

①に関しては、私自身、日本以外の国で1ヶ月以上過ごしたことがなく、また海外の人々とあまり交流が今までありませんでした。そこで、海外に住み日本とは異なる価値観、全く新しい価値観に触れたいと考えました。

②に関しては、今後ビジネスマンとして働いていく際、英語の能力は世界の人々と対等に渡り合うには必要最低限の能力であると考えました。そこで、英語の能力をビジネスで使えるレベルに上げたいと考えました。

③に関しては、私は明治大学で国際マーケティングを学んでいましたが、それは日本企業からの視点であり、あまり海外の企業の視点からのものではありませんでした。そこで、海外の企業の視点、特にヨーロッパの企業の視点から国際マーケティングを学びたいと考えました。

#### 1-2. 入学許可申請と語学能力

私は入学許可申請の際、とても苦労しました。その理由が語学能力でした（後で詳しく書きます）。入学許可申請には①成績表、②指導教員2名からの推薦状、③英語スコアの3点が必要でした。②に関しては総合学際、商学専門両方の所属ゼミナールの教授2人に依頼し、書いて頂きました。③に関して、明治大学の留学プログラムに応募をした時（10月頃）、私はイギリス留学に必要なスコアを持っていませんでした。しかし、幸い、英語スコアをカーディフ大学授業開始2ヶ月前の7月までに取るという条件付きで、留学許可を頂きました。それからはカーディフ大学から明治大学に留学に来ていたイギリスの学生にも手伝ってもらい、目標スコアに向けて必死に勉強をしました。そして、必要とされているスコア IELTS overall 6.5 を取得し、留学に行くことが出来ました。

#### 1-3. 留学費用

留学費用は約 150 万円かかりました。

内訳は

- ・ビザ取得：約 10 万円
- ・航空券：往復約 20 万円
- ・保険：約 10 万円（明治大学で提供された保険）
- ・語学学校：約 20 万円（寮費、授業料込み）
- ・教科書：約 1 万円
- ・家賃：月約£320×10 ヶ月＝年間約£3200＝約 45 万円
- ・食費：月約£120＝1 万 5,000 円×10 ヶ月＝年間 15 万円
- ・交通費：0 円
- ・交際費：月約 1 万円×10 ヶ月＝年間約 10 万円
- ・休日旅行、長期休暇旅行など：約 20 万円

#### 1-4. 奨学金

私は明治大学父母会、また明治大学留学経費助成金を頂きました。

#### 1-5. ビザについて

ビザ手続きについてですが、私は大学の交換留学プログラムが始まる前に現地の語学学校に行ったため、他の方々とはビザ申請の回数や取得の仕方が異なりました。イギリスは一つの学校に対し、一つのビザが必要となります。そこで私は語学学校用に一つビザを日本で取り、現地で大学用にビザを延長しました。必要書類等、ビザ申請に関する詳細は 6 ページに記載しています。

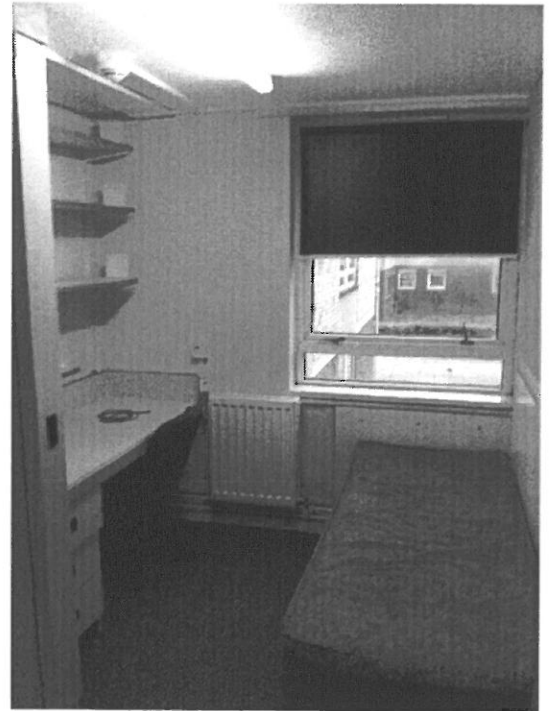
#### 2. 協定校での諸手続き

協定校で行った手続きは 3 点あります。1 点目は学生証の交付。2 点目は銀行口座開設書類の交付、3 点目は GP の登録です。1 点目、2 点目ともに同じ日に交付を受けることが出来ます。大学の指定場所に行き、受け取るだけです。特に難しいことはありません。しかし、2 点目に関しては書類を受け取った後、銀行に行き口座を開設しなければいけません。自分で口座維持費など銀行について調べて選んだ後、書類を持ってその銀行に行きます。（ちなみに私は HSBC という銀行にしました）。3 点目は GP という一般開業医への登録です。病気になるとまず、どのような症状でも、この医師（GP）の診療を受ける事になります。この GP には事前登録が必要であるため入寮時にそれを行います。

#### 3. 宿舎と日常生活

私は留学の一年間、大学の学生寮に住みました。トイレ・バスは自室に付いていて、キッチンが共同でした（写真は自室）。同居人（フラットメイト）は皆イギリス人で私を含め 6 人でした。留学生専用の寮はなく、現地の学生と一緒に生活しました。入寮当初は周りに日本人おろか、他の国からの留学生がいない状況であったため、イギリス人達と仲良くやっていくことが出来るのかととても心配になりました。しかし、彼らは私を快く受け入れてくれ、とても楽しい日々を送ることが出来ました。

1 週間で担当の曜日を振り分けて晩ご飯を当番制にし、自分の担当日以外は毎日イギリスの家庭料理を体験することが出来ました。また、ご飯の時や暇な時は共同スペースで彼らと話したり、お酒を飲み、クラブへも行ったりもしました。休みの日には近くのパブに行き、サッカーやラグビー観戦なども行いました。冬には移動式遊園地などにも遊びに行きました。このような様々なことを通して、帰国前にはフラットメイトの友達とも仲良くなっていき、多くのイギリス人と友達になることが出来ました。



#### 4. 協定校のカリキュラム・履修した授業、課外活動、留学の成果

交換留学生は基本的にコースなど関係なく、受けたい授業を取って良いということでしたので私は①International Management、②Marketing and Strategy、③Managing People、④International Business Logistics、⑤Modern British Economic History の 5 科目を取りました。①～④は今まで自分が日本で学んできたものの延長として、⑤はイギリスでしか学べないものを学びたいと考え取りました。

イギリスの授業形式は基本的に日本と同じような講義タイプと 2 週間に 1 回のチュートリアルと言うゼミのような 2 つの授業を組み合わせたものが多いです。講義タイプの授業は 20 人程度の小規模なものから 200 人程度の大きなものまでありました。チュートリアルでは基本的に少人数で行われ、ディスカッションやグループワークがありました。チュートリアルではもちろん、講義タイプの授業においても学生の前で、日本人はどう思う？などと質問されることがあり、常に気が抜けない状態でした。イギリス人の中で英語で発言をするのは難しかったですが、とても良い経験でした。

**My Timetable**

A	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
09:00 1	International managemen t		Modern British Ec... E02	International Business Logistics	Managing people tutorial
10:00 2	Tower LT3			B43	E48
11:00 3	International managem... S01				
12:10 4				Managing People	
13:10 5		Managing people tut... D27		L03	
14:10 6					
15:10 7		Modern British Ec... L02		Marketing & Strategy	
16:10 8		Modern British Ec... D21		Law 2.27	

**Handy Timetable** for iPhone

## 5. 帰国準備と帰国後の手続き

カーディフ大学では5月の終わりから約1ヶ月に渡り、試験が行われ、試験期間後すぐに寮をでなくてはなりませんでした。そのため、試験期間中から帰国の便を探す、現地の銀行口座を閉めるなどをしました。しかし、その他に特に面倒な手続きなどはありませんでした。

帰国時の荷物に関してですが、留学中にイギリスに遊びに来た友人に荷物を約10kg分、持って帰ってもらいました。そして残りに関しては、手荷物を30kgまで持ち込める航空会社を利用し、全ての荷物を飛行機で持ち帰りました。そのため、荷物の郵送はしていません。

## 6. 商学部学生へのメッセージ

私が少しでも留学に興味がある方に伝えたいことは、絶対に留学に行くべきだということです。私はカーディフでの1年間で様々な経験をしました。特にイギリス人との共同生活では、言葉が通じない不便さ、価値観の違い、イギリス人の優しさなど様々なことを感じました。これらの、今まで触れたことのない価値観や新たな人との出会いは私を大きく成長させてくれたと思います。確かに1年間日本を離れる事によって、失うものもあると思います。3年生で留学に行く方は就職活動の心配などもあると思います。しかし、留学は失う以上に

多くのものを得ることが出来ます。言葉が通じない海外での長期生活は勇気がいるものですが、その一步を踏み出せば、今まで見たことがない素晴らしい世界が広がると思います。それは日本にいては絶対に見ることの出来ないものです。皆さんも日本から一步踏み出してみてください。

### 【ビザ手続き】

ビザ手続きについてですが、イギリスは一つの学校に対し、一つのビザが必要となります。私は、語学学校用に一つビザを日本で取り、現地で大学用にビザを延長しました。

### 【日本：語学学校のためのビザ】

#### 1. 手続きを行った時期，場所

8月3日 英国ビザ申請センター（東京）

#### 2. 手続き者（本人もしくはエージェント）

本人。

#### 3. 手続きに必要な書類（パスポート，CAS 番号等）

①ビザ申請用紙：VAF9 Appendix 8、オンラインビザ申請書

②CAS 番号（語学学校から送られてくる）

③パスポート

④パスポートコピー

⑤証明写真

（⑥財政証明：通帳、通帳の翻訳されたもの、銀行残高証明。提出を求められないと思うが、一応持っていった方がいい。）

#### 4. 申請からビザ発給までに要した期間

出発日まであまり時間がなかったため、追加料金を払い、優先サービスを利用した。

3.4日くらい

#### 5. 手数料

visa 申請料金：¥37,500

優先サービス：¥10,000

## 6. その他、留意する事項

ビザについては必要書類や、必要条件などが頻繁に変わるので、最新版をチェックした方がいいです。

### 【英国：大学のためのビザ】

#### 1. 手続きを行った時期、場所

9月中旬。Cardiff UK Boarder Agency public enquiry office

#### 2. 手続き者（本人もしくはエージェント）

本人。Cardiff university international student support のスタッフの方が手厚くサポートしてくれた。

#### 3. 手続きに必要な書類（パスポート、CAS 番号等）

- ①ビザ申請用紙：VAF9 Appendix 8
- ②CAS 番号（大学のもの）
- ③パスポート
- ④証明写真（2、3 枚）
- ⑤財政証明：通帳原本、通帳の翻訳されたもの、銀行残高証明（銀行でもらえる）。
- ⑥語学学校在学証明書（語学学校でもらいました）
- ⑦語学学校 CAS
- ⑧英語スコア証明書原本
- ⑨明治大学在学証明書原本
- ⑩明治大学成績証明書原本

#### 4. 申請からビザ発給までに要した期間

1、2ヶ月程度

#### 5. 手数料

visa 申請料金：£716

これは Public enquiry office を利用した場合です（メリットとして短期間でビザが受け取れる）。

他にも、時間がかかりますが、郵送で申請を行うことも出来ます（£394）。

## 6. その他, 留意する事項

盲点なのが明治大学の書類 (⑨、⑩) です。今回、私は幸運にも商学部事務室を通してカーディフ大学に送ったものがあつたので良かったです。日本からしっかり準備して持って行ってください。コピーでは不可と言われたので、原本を忘れずに。

また、通帳の翻訳ですが、自分でやるのではなく日本で業者に頼んでください。(インターネットで探せば翻訳サービスを行なっている会社が沢山あります。)

ビザ取得の際、参考にした web サイト

<http://blog.livedoor.jp/studyabroad777/archives/5634950.html>

[http://blog.livedoor.jp/minminmi\\_\\_\\_n/archives/7539876.html](http://blog.livedoor.jp/minminmi___n/archives/7539876.html)